

Main racing results table with columns for race numbers (17, 16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), race names, winners, and detailed race data.

東京 11 発走 15:45 (31回 エプソムカップ(GIII))

芝1800 (東京) 良1分44秒2

成績の見方 (成績の見方) ①中◎12.24 有馬◎6 11 有記◎219 498◎0.5 47武 豊 ②12回39.1 後追込 ③14.4 1.1 ④57武 豊 ⑤14.4 1.1 ⑥後追込 ⑦後追込 ⑧後追込

本紙の見解 鞍上強化のマジエスティ 休み明け2戦の着指のマジエスティハーツ。共にゴール前競り落とされての未脚自慢としては不意な内容。地方はすでに重賞勝ちレベルに達しているため、改めて中心視。若手からベテランの横山典騎手に乗り替わるのも、大きなプラス材料と判断。充実一途のディサイファ、実績上位のマイネルラクティマが相手。【首位有望】

勢ある組に注目 5走前に準OPを勝って以降 小差善戦を続けるディサイファは千八百(3200)で東京芝3勝と条件ベスト。前2走は多々の2着。重賞でも通用の力を見せた13マジェスティハーツ。東京で3着があり、脚質から長い直線向き。重賞Vのチャンス。17カドトロワは4走前に中山杯で1に先着。7万勝中の東京千八百が一変がある。紅一点のディサイファは前回は前走に勝った。距離はいいが、前走最速上りであり、0.5秒差。叫びの目ではまれば怖い。タマモベストブレイは強敵相手の重賞で苦戦続きも、前2走に復調の兆し。重賞で好勝負の3歳のデキは千六百(1400)の重賞で再三好走。海外帰りが、流れに乗れば圏内。その半良14シルクアーネストは前走逃げて0.1秒差。再度展開がはまるかと怖い存在。天皇賞(秋)2着の実績光るからまだ時間はかかる。3歳ノノヨーイは前走5着でも8歳でさらなる上積みは?

血が騒ぐ 山野浩一

優駿牝馬、東京優駿、安田記念といふ最も重要なG1レース群をハ...

1 6.7 25.9 18.3 37.4 11.1 5.8 8.2 28.0 48.2 82.0 60.0 80.0 15.9 9.9 41.7

2 28.0 48.2 82.0 60.0 80.0 15.9 9.9 41.7 15.9 9.9 41.7 15.9 9.9 41.7

3 443.8 67.7 46.4 48.4 17.3 32.9 128.5 62.8 5.0 25.4 4.0 55.0 25.4 4.0

4 312.7 79.0 59.5 22.7 45.4 393.1 70.9 11.8 11.8 33.8 7.7 7.0 10.0 10.0 10.0

5 マイネルラクリマ 上原節二 帰国後は牧場をも含めてじっくり調整...

6 レインスティーク 大塚助手 前走はSペースで位置取りの差が出たが...

7 ゴルデンサンダー 鈴木助手 G1でも上がり最速を記録したが...

8 バドトロワ 鮫島節二 今週は実戦を想定してコース追い...

9 トーセンジャガー 美坂小寺 59キロは問題ない...

10 タマモベストブレ 栗坂 助手 53.8 39.0 12.2 一杯道先

11 ベルサ 美坂 北宏 51.1 37.0 12.4 馬なり併走

12 カネトシディオス 栗坂 助手 52.6 38.7 12.7 一杯道

13 マジェスティハーツ 栗坂 助手 53.8 39.0 12.2 一杯道先

14 シルクアーネスト 栗坂 助手 52.6 38.7 12.7 一杯道

15 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

16 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

17 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

18 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

19 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

20 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

21 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

22 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

23 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

24 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

25 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

26 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

27 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

28 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

29 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

30 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

31 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

32 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

33 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

34 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

35 カルドブレ栗良 栗坂 助手 83.2 67.3 52.2 38.2 11.8 7一杯道

36 フェスティン 栗坂 助手 69.8 54.7 40.5 13.7 6馬なり

37 アーデント南W席 栗坂 助手 68.0 53.1 39.1 13.6 7前道

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブ

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

黒津 紳一 復帰戦の大阪一ハンブルクCでいきなり2着と

11R 3 連複		11R 3 連単	
上位1馬	25馬	上位1馬	25馬
11317	13.2	13117	28.6
11013	16.0	13110	41.0
11513	22.7	13171	47.8
11713	25.2	11317	50.1
11313	30.8	13115	58.1
11413	32.3	13117	69.3
11113	33.8	13101	70.0
11315	34.3	11310	71.9
101317	39.4	11713	83.4
11314	39.6	13113	87.2
11316	44.5	11315	88.2
51317	61.0	13115	89.0
51013	65.9	13111	92.5
71317	68.0	13114	94.2
71013	68.2	17131	96.6
11017	75.1	13114	96.9
31317	82.2	13170	99.4
41317	83.6	11317	102.0
13147	84.1	13511	110.3
11317	84.4	11316	113.0
31013	85.0	17113	115.1
13157	88.4	11013	120.0
41013	90.0	11315	121.3
10113	95.2	10131	125.5
11613	99.9	13107	125.7



いつもと違う

エプソムCが別定戦になってからの18年で4歳馬9勝、5歳馬8勝、6歳馬1勝。しかも6歳馬(09年シンゲン)はキャリア13戦だった。ハンデ戦当時よりも4歳馬が勝つ確率は下がったが、18頭中11頭はエプソムCが初重賞勝ちでもあった。つまり、「重賞実績のない若い馬」が勝つことが多い。安田記念と



ハンデ戦のマイメイトSはこの6月中旬になった過去8回。各年に馬券に関係した3頭のうち人気薄の2頭を並べると(9)1156、1210、94、144、713、710、710番人気馬がからんでいる▼3連単だと、1123番人気馬は馬券に関係しても、最大1頭止まり。穴馬を2頭からませないと的中しない波乱がつづいている。8回中5回まで、10万円以上だった▲

馬券からんだ24頭中、17頭まで7割以上が軽量53kg以下の、OPでは好走したことのない格下馬だが、なんと今年は9フーラブライド以外はすべて53kg以下の軽量馬ばかり▲

その56kgの9フーラブライドにしても、(印が示すように)やや怪しい動きだから、もうみんな危ない馬同士のコンピ【151高倉騎手とのコンピ】

年馬	場所	距離	頭数	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着	11着	12着	13着	14着	15着	16着	17着	18着	19着	20着	21着	22着	23着	24着	25着	26着	27着	28着	29着	30着	勝	単	複	
21	東京	1800	18	シ	ゲ	ン	1	451	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	330	600	320
22	東京	1800	18	シ	ゲ	ン	1	467	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	360	1950	1090
23	東京	1800	18	シ	ゲ	ン	1	472	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	240	2520	1820
24	東京	1800	18	シ	ゲ	ン	1	467	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	370	1490	770
25	東京	1800	18	シ	ゲ	ン	1	457	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	680	3770	2100

発見馬

小曾大祐

①Rのマイネルラクリマ。新湯2歳S②着、富士S③着、京都金杯の勝利と、マイル戦でも活躍しています。千八ハ2戦の成績は(3313)。着外3戦はいずれも重賞での④着と、抜群の安定感を誇っています。瞬発力勝負では見劣りですが、早め先頭から粘り込み、この馬の持ち味。先行インコース有利の今の馬場状態は大歓迎。前走度外視で狙い撃ちします。戻って⑤Rの新馬戦ロジチャリス。ゴツイ体つきからはイメージできないほど、仕掛けてからの反応が良い馬。今週の稽古では残り1ハロンであった2馬身差を、軽くながらだけ突っ捕まえてゴールイン。鞍上の指示どおり動けるセンスは、新馬戦で強い武器になります。

競馬人情

吉川良

その馬が出ると、2000円でも3000円でも、どうしても単勝を買わねばならぬヒキ馬が私には何頭かいる。その一頭が、エプソムCを走るアーデントだ。

2007年のフイリースレビューで4着だったのがヒカルアモーレ。私と気の合う横浜の酒場のママが、「ヒカルアモーレ」という、最高の名前と惚れヒカルアモーレが出ると、私に単勝馬券を頼んできた。

アーデントのデビュー戦は2011年の夏。ヒカルアモーレが好きだったママが、57歳で死んでしまった夏だった。アーデントは、ヒカルアモーレの異父弟。どちらも芦毛だ。

私はセンチメントが好き。死んでしまったママに花を買うつもりで、アーデントの単勝を買った。アーデントは菊花賞にも出た。アーデントは2歳時に2勝4歳時に1勝。なかなか勝てなかったが、5歳の今年4月20日、皐月賞のあと春興Sでやっとこさ4勝目。

「おれ、うれしい」

と私は中山競馬場でひとりごとを言っていた。

第31回エプソムC。アーデントから馬単を買う。⑬①、⑬⑤、⑬⑩⑬。

阪神でマイメイトS。トップハンデ56キロの不安を、フーラブライドの地力が克服するだろう。馬単3点勝負。⑨②、⑨④、⑨⑩⑬。

4)に戻った1ウエスタンレベツカを狙いたい。4走前の愛知杯でフーラブライドに0.3秒負けたときが、同じ50秒だった。それが今回は4秒も軽い▲

阪神は芝・ダートに合わせて④⑦①①着。5走前の2分00秒5(上がり34秒5)で通用する相手と思える。心もち時計がかかる芝でこそタイプだ。スローの公算大。好位のインから一気にスパートしたい。

相手本線は阪神芝②②着の2フロアクラフト。半妹バウンスシャッセは今年のオークス③着だが、同馬もほぼ同様のタイムで昨年のオークス⑤着だった▲

エプソムCの伏兵は、好追い切りをさせた10タマモベストブレイ。昨年の皐月賞を1分58秒5(0.5秒差)。日本ダービーを2分24秒7(0.4秒差)。でも、母方はスピード系のこの馬、二千以上は(0008)。

ただし、きざらぎ①着、スプリングS②着など、千八以下なら【3111】だ▲(柏木)